

第1学年C組 保健体育科授業案

公開I 育朋館
授業者 山本 泰弘

1 単元 めざせゴールラッシュ ストリートハンドボール（ボールゲームI・ゴール型）

2 単元の構想

（1）本単元で成長する子どもの姿

ストリートハンドボールに出会った子どもは、シュートチャンスを作る必要性に気づき、その方法を考える。映像からゲームを分析することで、動きのよさや足りなさに気づく。ディフェンスを崩す必要性を感じた子どもは、自分たちの特徴を生かした作戦を立て、得点できる喜びを味わうことで、ゲーム分析の価値に気づく。そして、今後も動きを分析する視点をもって、運動と関わろうとする。

（2）保健体育科としての学び

本学級の子どもは、キンボールをとおして、仲間と協力しながら運動に親しむ楽しさを実感した。また、スポーツ吹き矢では、みんなが楽しむためにルールや的を工夫するなど、運動への取り組み方を工夫することを経験している。しかし、自分たちの試合を映像で見たり、その映像をもとにゲームを分析したりするなど、自分や仲間のプレイの状況を把握し、動きのよさや足りなさを認識する経験をしていない。そこで、本単元では、映像を利用してゲーム分析を行い、味方や相手と自分の動きを照らし合わせながらシュートチャンスを作るための作戦を立て、試合に生かす経験を積み重ねていく。単に、運動をするだけでなく、分析のために運動をみるという視点をもつことで、新たな運動との関わり方について考える機会としたい。

ストリートハンドボールは、柔らかいボールを使用するため、誰でも容易にボールを握ることができ、フェイントなどハンドボールに有効なプレーが比較的簡単にできる。反対に、ドリブルは難しいため、ボールを保持したプレーヤーは、シュートを打つかフリーになっている人にパスを出す動きが求められる。そのため、ボールを持ったプレーヤーがディフェンスを集める動きをしたり、それに連動して他のプレーヤーがパスをもらう動きをしたりすることがチームとして大切になり、そこに作戦を立てる必要性が生まれてくる。作戦を立てることをとおして、連携して動く動き方を学ぶことができる。また、ハーフコートの攻防のため、ボール運びの要素がなくなり、ゲーム分析をもとに立てた作戦が実行しやすいため、作戦を生かしてゲームを進める面白さを味わうことができる。

（3）子どもが「学んだこと」を見つけ出すための教師の営み

出会う段階では、試しのゲームをさせることで、シュートチャンスを作る必要性に気づき、チーム全員による攻撃のための動きを考え始める。

深める段階では、撮影した試合の映像を使ってゲーム分析を行う。パスの回し方や一人一人の動き方など、分析の視点を話し合いで明確にしながら、ゲームを振り返らせることで、子どもは、動きのよさや足りなさに気づく。そして、得点を取るためには、相手ディフェンスを崩す動きを身につける必要性を実感し、そのための作戦を考える。

つなげる段階では、チームごとに作戦本を作成させる。子どもは、その作戦本をもとにリーグ戦でプレイをする。狙ったプレイが成功するなどの経験をとおして、作戦を立てるためにはゲームを分析することが有効であるという価値に気づき、今後も動きを分析する視点をもって、運動と関わっていこうとする。

3 単元構想表 (15時間完了)

主なはたらきかけ	□ 思い・考え ■ 「学んだこと」 ◁ 子どもの行動	保健体育科で重視する力
<p>出会う</p> <p>深める</p> <p>つなげる</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> キンボールをとおして、仲間と運動する楽しさを味わった </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; float: right;"> スポーツ吹き矢では、ルールなどを工夫する大切さを学んだ </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> ストリートハンドボールってどんなスポーツかな 1～2時間 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ボールが片手で握れるので簡単にシュートが打てそう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 柔らかいボールなので、ドリブルは難しいぞ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 体に触ってはいけなから安心してゲームが楽しめそう </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> シュートの練習が必要だ。どんどんシュートを練習しよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> パスばかりを考えて、シュートを打たないもったいない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ゴールの高さが低いので、キーパーも怖くないぞ </div> </div> <div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 得点を取るためには、積極的にシュートを打たないといけない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> シュートチャンスを作る方法を考える 3～11時 (本時9) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ボールに人が集まりすぎてパスがなかなか通らない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> パスカットされないパスの回し方を考えないといけない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ゲームの映像を見るとチームの足りない部分がよくわかる </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> ゲーム分析から、チームのよさや足りなさを見つけることが大切だ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> コートを広く使うとディフェンスも動いてくるぞ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ディフェンスを外すパスのもらい方を考えないといけない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 試合に出場していない人がアドバイスをくれるようにしよう </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 素早いパス回しをすれば、相手の隙を作ることができそう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> スペースを意識したパスのもらい方を意識することが大切だ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 必要に応じて、映像で自分たちのゲームを分析しよう </div> </div> <div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 相手ディフェンスを崩すための動きを身につけ、攻撃パターンを考えないと、得点にはつながらないぞ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 攻撃パターンを考え、リーグ戦に臨む 12～15時 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 素早いサイドチェンジやポストプレイは得点にからみそう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 背が高い子をポストにして、ポストプレイをしよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 攻撃パターン工夫するとシュートチャンスが増えるぞ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> ボールをもたない人が、連動して動くことが大切だ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 仲間と協力してディフェンスを崩すことができたぞ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 狙ったプレイが成功して、得点につながるとうれしい </div> </div> <div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> ゲームを優位に進めるためには、動きの分析をもとに、攻撃パターンを工夫することが大切だ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 動きを分析しながら、積極的に運動に関わっていく </div>	<p>☆運動を認識する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームを進めるために必要な技能は何か、また、それを習得するためにはどんなと練習をしないといけないかに気づく <p>☆運動を認識する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交流をとおして、ゲームを分析する視点に気づく <p>☆運動を認識する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの試合の映像を見ることで、自分たちのチームのよさや足りなさに気づく <p>☆運動を認識する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 分析した情報をゲームに生かすよさに気づく
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 運動はただするだけでなく、動きをみて考えることが大切だ。自分なりの関わり方を考えながら、運動に取り組んでいきたい。 </div>	

4 本時の構想

ストリートハンドボールに出会った子どもは、シュートの技術を高めたり、素早いパス回しの練習をしたりすることが必要だと感じ練習を始めた。自分たちのプレーを映像に収め、その映像をもとにゲームを分析した結果、スペースに走り込む動きがシュートにつながることに気づき、シュートチャンスが増えてきた。しかし、徐々にディフェンスがその動きに対応してきており、さらに作戦を改善していかないといけない思いを抱いている。

本時では、素早いサイドチェンジやポストプレーなど、特徴的な攻撃から得点を取ったシーンを映像で見せることで、ディフェンスを集める動きに連動しながら、シュートチャンスを作る攻撃パターンがあることに気づかせたい。自分たちのチームの攻撃パターンを練り直す必要性を実感し、新たな攻撃パターンを考え始めるだろう。ゲームの中で攻撃パターンを生かしたプレーを試してみることで、その有効性を感じ、さらによりよいプレーをもとめ作戦を考えていく。

